

【第3回】

# 横須賀港 浅海域保全・再生研究会

日時：平成25年(2013年) 1月24日 (木)  
会場：横須賀市役所 消防局庁舎 4F  
災害対策本部室



横須賀市 港湾部

# 目次

1.	第2回研究会での主な意見とその対応	3
2.	各候補地の主な特性について	7
2-1	各候補地の位置	8
2-2	各候補地の社会特性	9
2-3	各候補地の環境特性	18
2-4	各候補地の自然特性	19
3.	候補地の絞り込みについて	20
3-1	絞り込みの観点について	21
3-2	各候補地の評価について	23
3-3	候補地の絞り込み結果	25
3-4	今後の検討事項について	26
3-5	ご意見をいただきたい点	27

1. 第2回研究会での主な意見とその対応
2. 各候補地の主な特性について
3. 候補地の絞り込みについて

# 1. 第2回研究会での主な意見とその対応（1）

分類	No.	意見等（概要）	考え方（対応方針）案
1. スケジュールについて	1	<p>海が再生してこそ有意義なことである。狭い地域でもいいので試験的、パイロット的な取り組みなど、事業に着手する時期を早くできないか要望したい。 【堀口委員】</p>	<p>試験的、パイロット的にハード面の整備を行うことは、財政上、<u>市単独で実施することは難しく、国の補助制度を利用することになります。</u>このため、<u>当研究会において試験的な取り組みの内容についても検討し、国土交通省だけでなく、他府省庁の補助制度活用の可能性について、探っていき</u><u>たいと考えています。</u></p>
	2	<p>横須賀港は生き物が棲み家をつくる可能性が非常に高い場所であるので、具体的な取り組みを実施していくことを再度要望したい。 【古川委員】</p>	<p>併せて、円滑かつスピーディに事業を実施していくため、<u>検討会と並行して対象地域において懇話会等を開催し住民の意識を高めるとともに、意見聴取により住民参加型の計画としていき</u><u>たいと考えています。</u></p>
2. 検討の進め方について	3	<p>利活用を考えるには、その背景にある必要条件をきちんと押さえ、整理する必要がある。 【古川委員】</p>	<p>利活用の検討については、「<u>環境学習を行うには生き物がいなければならない</u>」など、<u>利活用するために必要な条件をきちんと把握した上で、検討していき</u><u>たいと考えています。</u></p>
	4	<p>浅海域の利活用は漁業にとってもプラスになる。水産の振興と市民の利活用が両立する形をつくりたい。 【秋元委員】 【今井委員】</p>	<p>漁業についても、<u>浅場の再生は漁場の改善にもつながり関係性が深いことから、整備や利活用を検討するにあたっては、水産の振興についても考慮しながら、検討していき</u><u>たいと考えています。</u></p>

# 1. 第2回研究会での主な意見とその対応（2）

分類	No.	意見等（概要）	考え方（対応方針）案
2. 検討の進め方について	5	大規模な整備をして生き物の生息場をつくることの一方で、その整備により海面が大きく失われることについて、両方のバランスをよく考えていかななくてはならない。【本多委員】	浅海域整備は、規模や整備内容によっては、海面を大きく消失させる開発行為ともなりうることから、委員の皆さまからご意見をいただきながら、 <u>整備場所や整備規模等について検討していきたい</u> と考えています。
	6	アマモ場が海水浴客の邪魔になるなど、利活用をする面で相反する事態が起きたときに、どのように調整していくか検討していく必要がある。【秋元委員】	<u>整備の結果が利活用の面で相反する事態を引き起こすなどの不確実性についても、事前に洗い出す</u> などして対応策を検討しておきたいと考えています。
3. 候補地について	7	久里浜（長瀬）地区前面海域の岩礁帯を上手く活用できないか。近くにある国総研との協働で、環境学習に取り組めると面白いのではないか。【古川委員】	ご意見のような候補地の周辺状況も考慮に入れて <u>整備場所を検討していきたい</u> と考えています。また、整備した浅海域を利活用をしていく際には、 <u>対象地域の住民や事業者等の協力も得ながら進められるよう、協力体制についても検討していきたい</u> と考えています。
	8	今ある浅場の近辺を造成するなど、先ずは良い条件の場所から生き物を豊かにしていくことが基本だと思う。【角委員】	候補地を検討する上で、 <u>ご意見も考慮しながら検討していきたい</u> と考えています。

# 1. 第2回研究会での主な意見とその対応（3）

分類	No.	意見等（概要）	考え方（対応方針）案
3. 候補地について	9	生き物の生息場所を増やす観点から、追浜地区リサイクルプラザサイクル前面海域も考えられるが、市民に対する事業効果という意味で適当かどうかを皆さんと考えたい。【本多委員】	海域環境の改善だけでなく、そこに利活用が伴うことが、研究会が目指す有効な保全・再生事業と考えていますので、 <u>市民に対する事業効果についても考慮しながら、候補地を選定していきたいと考えています。</u>
	10	長浦地区の田浦中学校の前面海域には浅場があり、良い海域環境である。水域も狭く、商業利用との兼ね合いは難しいが、長浦湾全体で見ると候補地はあるのではないかと。【古川委員】	候補地の緑地護岸前面海域からも近く、同じ特性として、 <u>田浦中学校前面海域を含めた形で検討していきたいと考えています。</u>
	11	底質が良くない北部海域にあり、海に近づけるパブリックアクセスレベルⅡの「深浦地区」を候補地として評価してはどうか。【秋元委員】	新たに候補地としてご意見をいただいた深浦地区と猿島についても、本資料及び資料2のとおり、 <u>特性の整理を行いました。</u>
	12	もともと漁業権の小さい区域がさらに狭められる場所など、漁業者が協力できない場所がある。その点を考慮すると、候補地として猿島や走水が良いのではないかと。【斎藤委員】	これら2つの候補地も含めた形で、委員の皆さまからご意見をいただき、 <u>候補地を絞り込んでいきたいと考えています。</u>

1. 第2回研究会での主な意見とその対応
2. 各候補地の主な特性について
3. 候補地の絞り込みについて

## 2-1 各候補地の位置



深浦地区前面海域



追浜地区リサイクルプラザ  
サイクル前面海域



長浦地区緑地護岸前面海域



新港地区  
猿島周辺海域



本港地区ヴェルニー公園前面海域



平成地区うみかぜ公園前面海域



浦賀地区住重護岸前面海域



走水（伊勢町）地区  
前面海域



久里浜（長瀬）地区前面海域



## 2-2 各候補地の社会特性（1）

### （1）追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域



- ・ 前面が区画漁業権区域
- ・ 候補地付近には環境施設が立地
- ・ 市民団体が環境活動を実施

## 2-2 各候補地の社会特性（2）

### （2）深浦地区前面海域



## 2-2 各候補地の社会特性（3）

### （3）長浦地区緑地護岸前面海域



- ・住民から緑地整備の要望がある
- ・自衛隊の艦船が望める場所
- ・自衛隊等が泊地等で使用するため水域が狭い
- ・公共的な港湾機能の確保が求められる地区

## 2-2 各候補地の社会特性（4）

### （4）本港地区ヴェルニー公園前面海域



- ・横須賀らしい景観が臨め、「軍港めぐり」など新たな観光スポット
- ・米軍提供水域に隣接し艦船等が航泊するため水域が狭い

## 2-2 各候補地の社会特性（5）

### （5）新港地区猿島周辺海域



## 2-2 各候補地の社会特性（6）

### （6）平成地区うみかぜ公園前面海域

- ・ 背後のうみかぜ公園は近隣住民や買い物客などの憩いの場
- ・ 海底勾配が急で水深が深い



## 2-2 各候補地の社会特性（7）

### （7）走水（伊勢町）地区前面海域



## 2-2 各候補地の社会特性 (8)

### (8) 浦賀地区住重護岸前面海域



- ・ 背後地の民間事業者による開発が不透明
- ・ 前面が区画漁業権区域
- ・ 道路が狭くアクセスが良くない



## 2-2 各候補地の社会特性 (9)

### (9) 久里浜 (長瀬) 地区前面海域

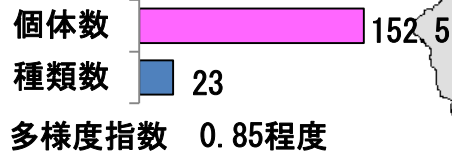


- ・平作川河口部の海岸と磯場は憩いの場となっている
- ・付近には港湾関連の研究機関が立地
- ・港湾緑地計画あり
- ・港内であるが比較的広い空間を確保できる

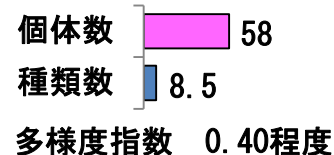
# 2-3 各候補地の環境特性

## 《底生生物・アマモ・アサリの生息状況》

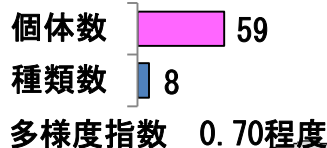
### 【アイクル】



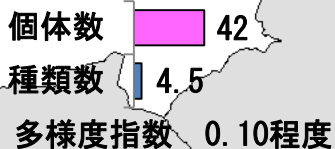
### 【深浦】



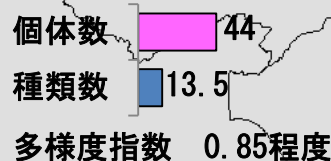
### 【長浦】



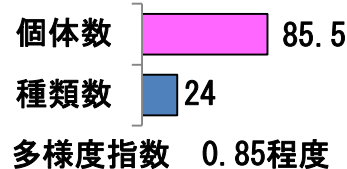
### 【ヴェルニー公園】



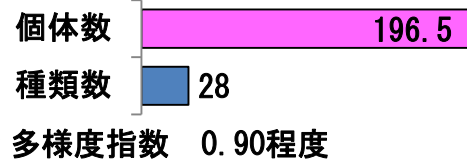
### 【うみかぜ公園】



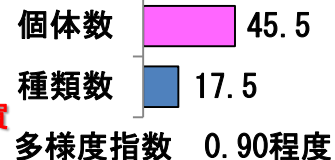
### 【猿島】



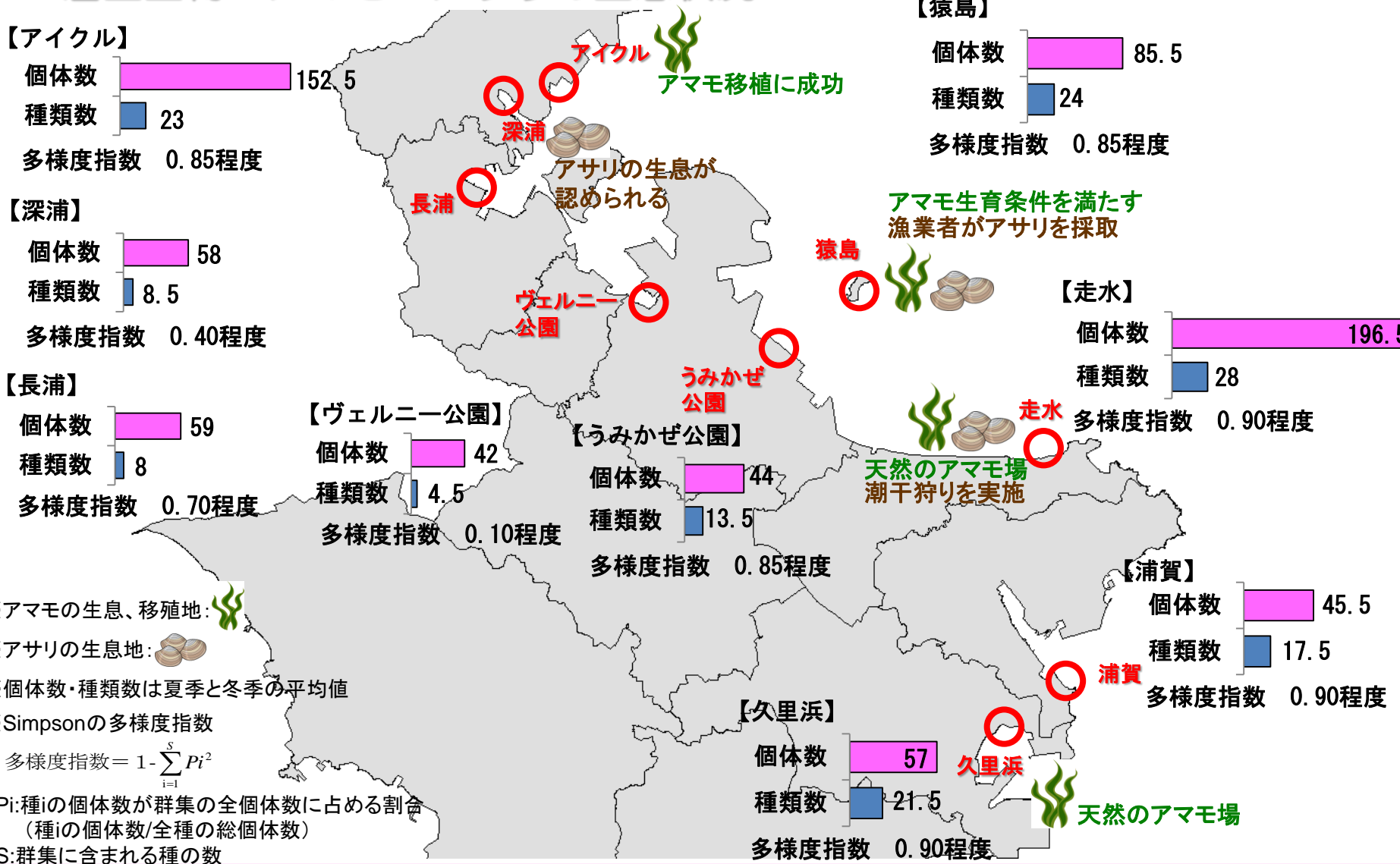
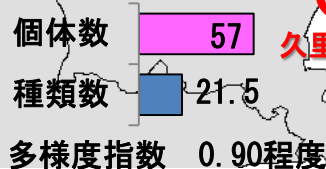
### 【走水】



### 【浦賀】



### 【久里浜】



※アマモの生息、移植地:

※アサリの生息地:

※個体数・種類数は夏季と冬季の平均値

※Simpsonの多様度指数

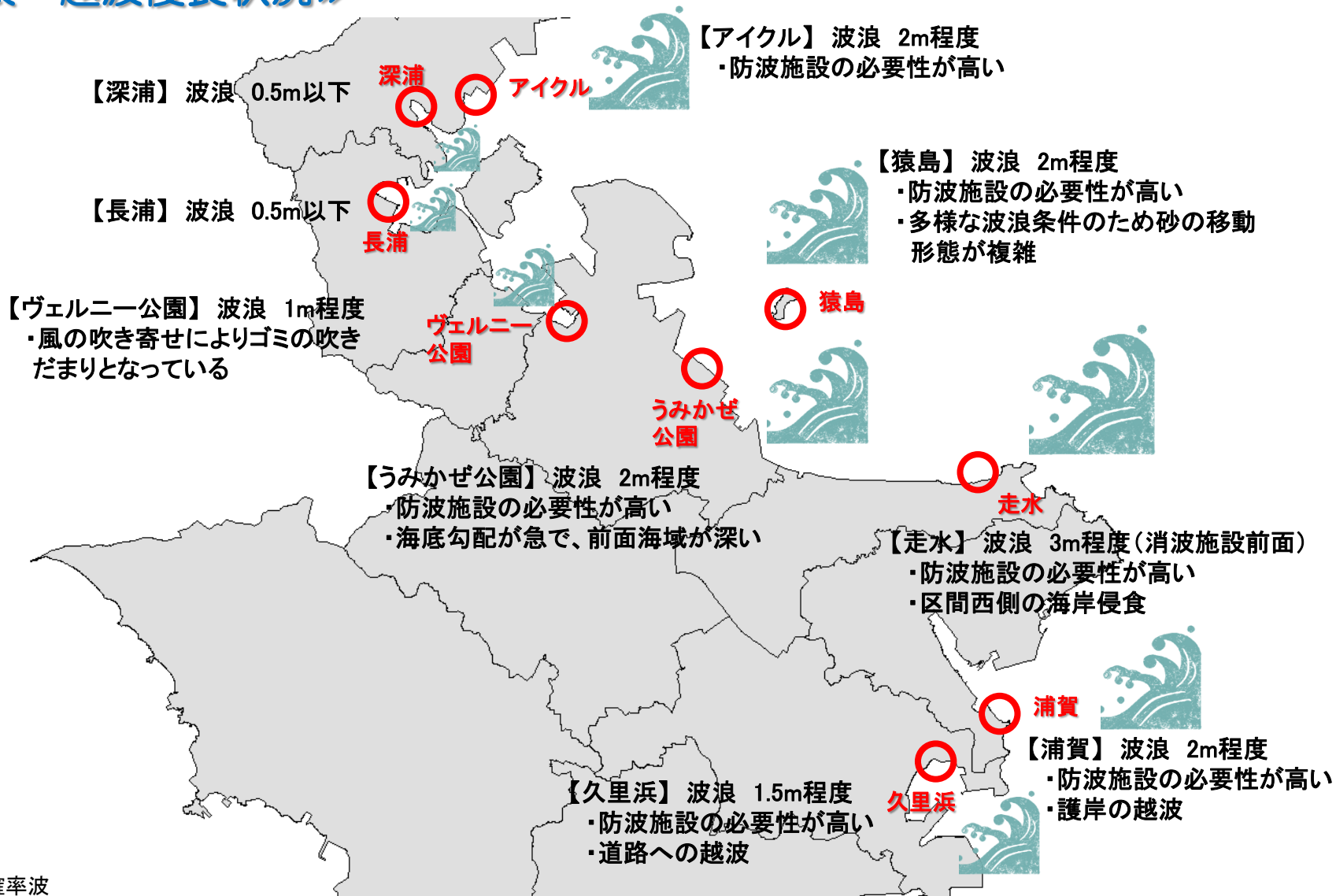
$$\text{多様度指数} = 1 - \sum_{i=1}^S P_i^2$$

Pi:種iの個体数が群集の全個体数に占める割合  
(種iの個体数/全種の総個体数)

S:群集に含まれる種の数

## 2-4 各候補地の自然特性

### 《波浪・越波侵食状況》



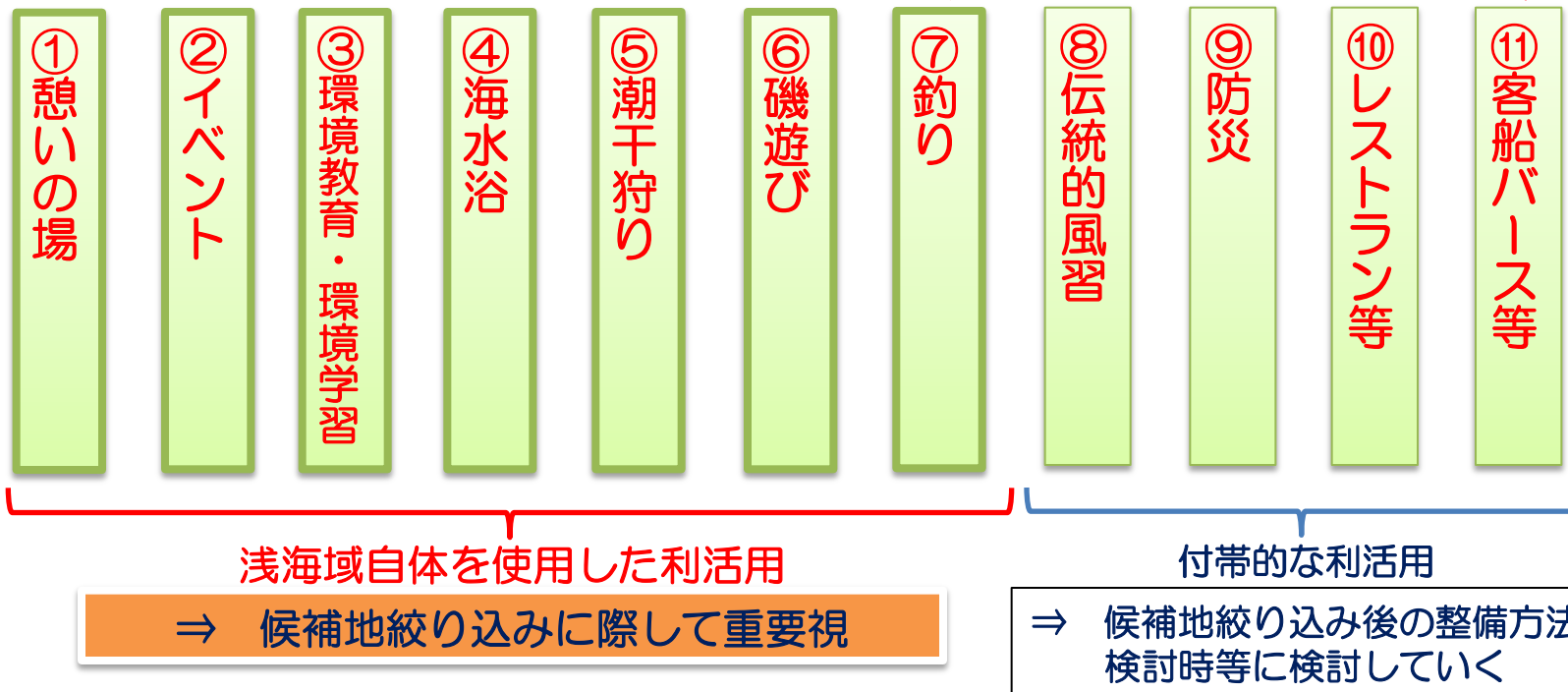
1. 第2回研究会での主な意見とその対応
2. 各候補地の主な特性について
3. 候補地の絞り込みについて

# 3-1 絞り込みの観点について (1)

## (1) 絞り込みの観点

### ● 利活用及び各特性から候補地を絞り込み

第2回研究会で示した利活用方法の例



### ● 参考：横須賀市環境基本計画（2011～2021）

#### 「よこすか海辺環境保全・再生プロジェクト」

重要視した利活用が概ね含まれる

海辺に関するイベントの開催や環境教育・環境学習としての活用を図り、観光客も含めた交流人口増加や、美化活動など、ふれあいの場の創出を推進することとします。

## 3-1 絞り込みの観点について（2）

### （2）絞り込みの観点と必要条件となる特性

利活用	絞り込みの観点	評価基準
①憩いの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の在住（在勤）者の状況などの周辺状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○：周辺に住宅が多い（潜在的利用者あり）</li> <li>△：周辺住宅は少ないが、工場・商業施設がある（潜在的利用者あり）</li> <li>×：周辺に住宅や工場・商業施設が少ない（潜在的利用者がいない）</li> </ul>
②イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海域利用制限（水域確保）</li> <li>・背後地の利用状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○：水域が広い等により大規模なイベントができる</li> <li>△：水域が確保され、ある程度のイベントが可能である</li> <li>×：水域が狭い等により小規模なイベントに限られる</li> </ul>
③環境教育・環境学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・底生生物の生息状況（周辺に生息する生物状況）</li> <li>・アマモの生育状況・生育条件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○：アマモが生育（移殖も含む）している、又は生育条件を達成 底生生物の個体数が多く、多様度が高い</li> <li>△：アマモは生育していないが、底生生物の個体数、多様性が中～大</li> <li>×：アマモも生息せず、底生生物の個体数・多様度も小</li> </ul>
④海水浴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海域利用制限（水域確保）</li> <li>・水浴場水質判断基準</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○：水域が広く、十分な広さを確保できる</li> <li>△：水域があり、ある程度の広さを確保できる</li> <li>×：水域が狭く、十分な広さを確保できない</li> </ul>
⑤潮干狩り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海域利用制限（水域確保）</li> <li>・アサリの生息状況・生息条件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○：アサリが生息し、かつ十分な広さを確保できる</li> <li>△：アサリが生息しない（生育条件も未達成）が、十分な広さを確保できる</li> <li>×：アサリが生息せず（生育条件も未達成）、十分な広さを確保できない</li> </ul>
⑥磯遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・底生生物の生息状況（周辺に生息する生物状況）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○：底生生物の個体数多く、多様度が高い</li> <li>△：底生生物の個体数、多様性が中～大</li> <li>×：底生生物の個体数・多様度も小</li> </ul>
⑦釣り	水際線に近づくことができ、利用のルールが確立されれば釣り場になりうる	

◎これらの必要条件となる特性の他に、候補地周辺状況や越波・侵食状況など、候補地を絞り込む上で必要と思われる特性を考慮する

## 3-2 各候補地の評価について（1）

	利活用への適合							考慮すべき特性 (赤字はプラス要因、 青字はマイナス要因)	総合評価	
	憩いの場	イベント	環境学習	環境教育	海水浴	潮干狩り	磯遊び			釣り
(1) 追浜地区リサイクル プラザイクル前面海域	△	○	○	○	○	△	○	○	・付近の環境施設と連携した環境教育・環境学習が期待できる	○
(2) 深浦地区前面海域	○	×	×	×	×	△	×	○	・環境改善が実現すれば、環境教育・環境学習や磯遊びの場になりうる	×
(3) 長浦地区 緑地護岸前面海域	○	△	×	×	×	×	×	○	・環境改善が実現すれば、環境教育・環境学習や磯遊びの場になりうる	×
(4) 本港地区ヴェルニー 公園前面海域	△	○	×	×	×	×	×	○	・環境改善が実現すれば、環境教育・環境学習や磯遊びの場になりうる ・ゴミの漂着が懸念される	×
(5) 新港地区 猿島周辺海域	×	△	○	○	○	○	○	○	・天候・時間帯により利活用が制限される ・砂浜の維持管理が困難	△

## 3-2 各候補地の評価について（2）

	利活用への適合							考慮すべき特性 (赤字はプラス要因、 青字はマイナス要因)	総合評価
	憩いの場	イベント	環境学習	環境教育	海水浴	潮干狩り	磯遊び		
(6) 平成地区 うみかぜ公園前面海域	○	○	△	○	△	△	○	・急深な地形であるため、広い空間を要する利活用を行うための施設整備には事業費が大きくなり、実現性に乏しい	△
(7) 走水(伊勢町)地区 前面海域	△	○	○	○	○	○	○	・漁村を活かした漁業振興が期待できる ・侵食対策になる	○
(8) 浦賀地区 住重護岸前面海域	×	○	△	○	△	△	○	・候補地中最もアクセスが悪い ・背後地の開発状況が不透明	△
(9) 久里浜(長瀬)地区 前面海域	○	○	○	○	△	△	○	・付近の研究機関と連携した環境教育・環境学習が期待できる ・越波対策になる	○

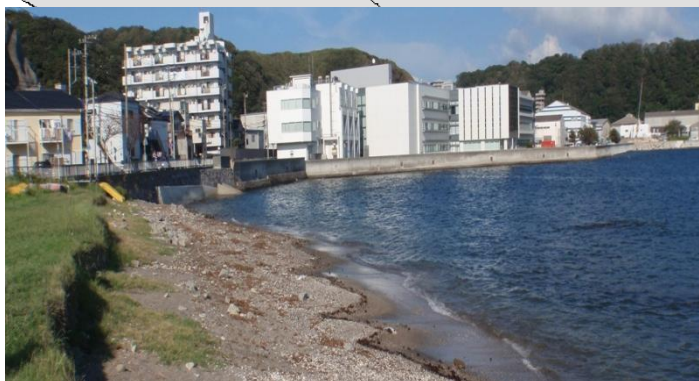
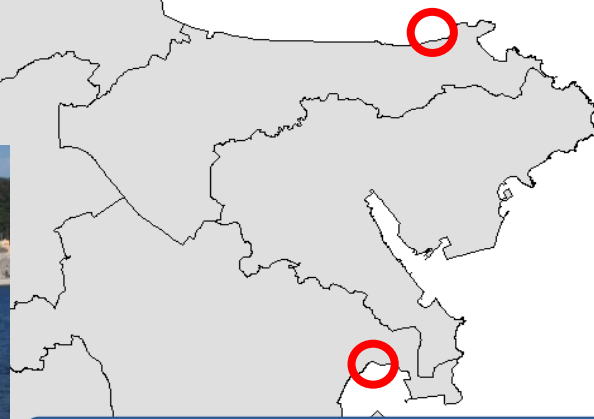


### 3-3 候補地の絞り込み結果

追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域



走水（伊勢町）地区前面海域



久里浜（長瀬）地区前面海域

## 3-4 今後の検討事項について

### (1) 整備方法の検討

- ・ 工法の特徴と候補地への適合性の整理（長所・短所、効果、経済性、問題点）

### (2) 財源の検討

- ・ 国土交通省及び他府省庁の補助制度についての整理

### (3) モデル的・先行的事業の検討

- ・ 実際の整備方法に則した小規模な整備についての検討
- ・ 住民の参加意識を高めるためのソフト的な取組みについての検討
- ・ 事務局による先進事例の視察

### (4) 検討会に向けた調査項目の抽出

- ・ 実際の事業に向けた各種調査項目の抽出

### ○ 候補地の絞り込みについて

- ・絞り込みの方法について
- ・絞り込んだ3地点の他に候補地とすべき場所はあるか
- ・絞り込んだ3地点における利活用について

### ○ 今後の検討事項について

- ・検討事項の内容について
- ・その他に検討すべき事項について



## 横須賀市港湾部

【事務局】 横須賀市 港湾部 港湾企画課 港湾計画係  
TEL : 046-822-9464 FAX : 046-826-3210  
E-mail : pp-ph@city.yokosuka.kanagawa.jp